

黒野城と加藤貞泰公研究会
平成28年度(2016)活動行事記録

CCN チャンネル長良川 「蘇る黒野城」で研究会活動を取材

黒野城と加藤貞泰公研究会
 平成28年(2016) 4月19日(火)
 8:30~13:00

チャンネルCCN12(地デジ12ch)のTV番組で撮影スタッフ4名が黒野城跡など城下町巡りの撮影に来られました。オープニング撮影に会員など12名参加。武将隊姿の入場に撮影スタッフも喜びの声。本丸跡では、メンバー登場シーンと見送りを撮影。その後、河口会長の案内で城下町や御望山など6箇所撮影が行われた。放送は番組「長良川情報局」内で5月14日(土)~20日(金)予定。



放送時間
 (★印: 初回放送
 全36回)

月	火	水	木	金	土	日
7:00	7:00	7:00	7:00	7:00	★7:00	7:00
9:00	9:00	9:00	9:00	9:00	9:00	9:00
12:00	13:00	13:00	13:00	13:00	13:00	13:00
17:00	17:00	17:00	17:00	23:00	19:00	19:00
21:00	20:00	23:00	19:00		23:00	23:00
	23:00		23:00			



→
 撮影制作のCCN
 及びオフィス楽都
 のみなさん。
 左は出演者川嶋
 美咲さん
 洞の御望山にて

「鎧・兜手作り教室の説明会」を開催

黒野城と加藤貞泰公研究会

平成28年(2016)5月7日(土)
黒野会館 13:30～16:00頃

市民の子供や大人を対象に鎧・兜手作り教室の説明会を初めて開催。事前に自治会回覧などで募集案内を行い、当日会館にて数点の鎧を展示。この日は黒野小学校の授業参観日と重なり、参加者は一般4名、ホームニュース取材1名、講師2名、会員7名の計14名でした。部会長松井さんから主旨説明、講師中山浩子さんや中村奈津子さんから型紙から作り方を説明。途中参加してきた小3児童に鎧を試着。本人も親も満足の様子でした。一般参加者は孫などに着せたいなどの目的で参加。第2回説明会を6月25日に開催することに決まり、子供達の参加も期待する。



試着で小3とは思えない貫禄



よろい かぶと 鎧・兜を作ってみませんか？ 親子手作り教室説明会のご案内 (祖父・祖母歓迎)

最近、戦国武将姿に子供も大人も関心が高まっています。
興味のある方へ / 説明会を開催しますので気軽にお越し下さい

1. 日時 5月7日(土) 13時30分～
2. 会場 黒野会館 1階
3. 説明会 見本展示・開催期間・費用などを説明します
4. 教室内容 子供用又は大人用のヨロイ・カブト手作り教室
(ベースは主にボール紙と布・軽く、作り易く、着やすい材料)
講師: 中山浩子・中村奈津子
5. ヨロイ・カブトの用途(例)
・自宅に飾り、家宝にする
・イベント参加(希望により黒野城武将隊の行事に参加など)
6. 問合せ先 電話番号: 090-1989-7229 関谷まで



いづれも主な部分は
紙と布で出来ています

主催 黒野城と加藤貞泰公研究会 武将隊部会

第3回 関ヶ原古戦場と中山道今須宿・柏原宿

今年で3回目になる関ヶ原古戦場巡りは名知さんの企画案内で10名参加。今須宿から滋賀県の柏原宿まで中山道巡りなど中身の濃い一日でありました。
福島正則陣地跡→不破の関跡→今須宿、青坂神社の家康腰掛石→妙応寺→車返しの坂跡→寝物語りの里(昼食)→柏原宿の長久寺カエデ並木→長比城跡→
柏原宿町散策→柏原宿歴史館→大谷吉継の墓を巡りました。



福島正則陣地跡と月見の宮大杉



妙応寺前のトンネル



車返しの坂跡



岐阜県と滋賀県の県境をまたぐ



安田以哉坊句碑(不破の関跡内)



持参弁当で一息



柏原宿歴史館



福助の由来は
柏原



大谷吉継の墓

第3回黒野歴史探訪に向けて草刈

黒野まちづくり協議会主催、企画運営・案内役研究会による「黒野歴史探訪・洞の史跡めぐり」を一週間後に備え、部会メンバーと有志5名にて案内コースの一部を5台の草刈り機で作業、見学の準備ができました。

場所は、深坂神社大杉周囲、洞第2古墳群の保存2基円墳、第一於母ヶ池の土手道、第2於母ヶ池の土手の順で行った。尚、古墳の草刈は、発掘中の県文化財保護センターに相談し、管轄の国土交通省の許可を得て実施した。



草刈前の円墳2基



草刈後の円墳2基



古墳2基分草刈



第一於母ヶ池土手の道



第2於母ヶ池土手と道



第2回 鎧・兜手作り教室の説明会を開催

平成28年(2016)6月25日(土)
黒野会館 13:30~15:00



2回目の「ヨロイ・カブト手作り教室」の説明会を黒野会館で開催。5組の参加者があり、型紙からボール紙で胴から順に作り方や、期間、費用の説明後、参加者の子供に試着。親子共に大満足の様子でした。教室参加希望者は6月末に締切、4組応募。7月から教室を始めることになりました。



試着した小学校2年と3年の子供。着心地に満足！



試着中の親子と中山師匠



孫をイメージして、立派な武将姿に見入る参加のみなさん



平成28年(2016)6月26日(日)
9:00~12:10

第3回 黒野歴史探訪 洞の史跡めぐり 1/2

黒野まちづくり協議会主催「黒野歴史探訪 洞の史跡めぐり」が開催。研究会が企画案内を行いました。当日は幸運な梅雨の晴れ間。案内スタッフを含めて66名が参加。黒野で最も古い創建の深坂神社と、境内のスギの巨木の説明から始まり、同様に黒野最古の古刹である圓成寺に徒歩で移動。圓成寺はあの独眼竜伊達政宗公が生涯の師と仰いだ、虎哉宗乙(こさいそういつ)和尚が住職を務められたこともあるお寺です。現在の住職である16世坪井龍生和尚の出迎えを受け、本堂でお話を頂き貴重な涅槃図なども披露していただきました。その後、江戸時代に造られた岐阜市で2番目の規模を持つ溜池「於母ヶ池」を経て、昨年から東海環状自動車道の建設に伴う発掘調査が現在も行われている洞第2古墳群に移動。

まだ未発掘の古墳の墳丘上で、去年の調査で判明した弥生時代から古墳時代の遺構や墳墓、背後の鵜飼山(御望山)の歴史などを説明。

黒野で最も自然を残している洞地区で、全長約4kmのコースを巡るフィールドワークは好天もあり、多くの満足を取れたと思います。



深坂神社西
主催者挨拶・コース説明・案内人紹介



深坂神社拝殿前にて由来説明



受付



深坂神社の大杉



- ・御望山全景を背に軽トラックから地図にて東海環状自動車道路のコース説明
- ・御望山の歴史
- ・洞の梨、柿など



地蔵堂前309年前刻銘の



深坂神社から出発

洞の史跡めぐり 2/2



圓成寺入口



圓成寺本堂
・第16世坪井龍生住職から寺歴などお話
・虎哉和尚の補足説明



圓成寺本堂前で全員集合



洞第二古墳郡の古墳上
発掘状況や出土品の写真
黒野の遠望



用水路に生息する
水産貝類の二枚貝紹介



於母が池の歴史・云われなど



第一於母ヶ池



宮坂の果樹園を抜け本村へ

歴史講座「関ヶ原合戦はなぜ起こったか？」

黒野城と加藤貞泰公研究会

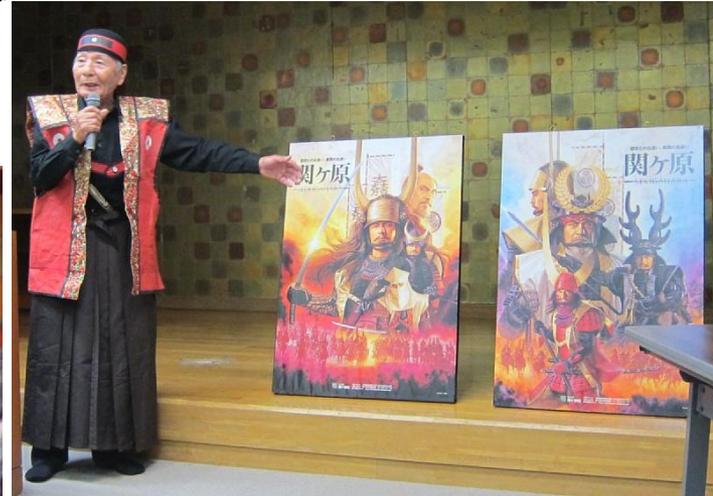
平成28年(2016)8月5日(金)

黒野会館 19:30~21:00

参加者: 39名

毎年恒例の黒野会館主催歴史講座。今回は、関ヶ原合戦を専門に勉強された研究会幹事長の名知勲さんが「関ヶ原合戦はなぜ起こったか？ 命運を分けた武将の選択」の演題で、北の政所(ねね)と淀君(茶々)の女の戦いも交えて、合戦までのいきさつを中心にお話。

講演後、河口会長から、関ヶ原町役場と岐阜県による関ヶ原古戦場の整備事業について、研究会は武将物語の電柱看板に加藤貞泰を申請中であると貞泰公の顕彰活動に取り組んでいると報告。



関ヶ原町役場に嘆願して入手した東軍、西軍の武将パネルを紹介

←「慶長5年 関ヶ原合戦」の旗は名知さんの講演の為に平井昭彦さんが製作



関ヶ原町の歴史案内電柱看板に加藤貞泰を申請中と報告 9

平成28年(2016)8月7日(日)
岐阜グランドホテル7:00~8:00
参加者:30名

岐阜長良川ロータリークラブの例会で「蘇る黒野城」講演

岐阜長良川ロータリークラブ(河合喜三会長・会員数55名)の前会長、新日本ガス(株)社長高井宏康様から黒野城の卓話要請があり「蘇る黒野城」の演題で、プロジェクターと配布資料にて歴史や研究会活動を紹介(35分)。当クラブは前日夜の花火大会で「長良川を美しくしよう運動」の清掃活動後に早朝例会が行われた。



「蘇る黒野城」プログラム

1. 黒野城とは
2. 城が蘇る
3. 歴史が蘇る
4. 人々の手で蘇る



岐阜長良川ロータリークラブ会長河合喜三様



例会会場

国際ロータリー第2630地区 岐阜Aグループの岐阜長良川ロータリークラブは、毎週例会を開催。奉仕活動の精神で規律正しい運営が行われていました



関ヶ原合戦 徳川家康からの手紙を多く受け取った武将ランキング

1位	福島正則	2075	14通
2位	伊達政宗	1875	9通
	浅野幸長	1775	
	黒田長政	1875	
5位	藤堂高虎	1375	7通
	池田輝政	1475	
8位	最上義光	1907	6通
	森 忠政	775	
9位	加藤貞泰	475	5通
	京極高知	1875	
	妻木頼忠	757	
13位	真田信幸	2775	4通
	前田利長	1907	
	福島高晴	1375	
	堀 親良	375	
			以上計98通

データ:「歴史人」9sep2015 No58 新説大関ヶ原より
[岐阜・東海新聞記者会提供]

参考:関ヶ原戦場史跡群(17世紀遺産)

全国城郭研究者セミナー参加の一部先生が黒野城郭見学

平成28年(2016)8月7日早朝と
9日(火)10時～14時

ぎふメディアコスモスで開催された「第33回全国城郭研究者セミナー」に参加の一部の先生方が「二の丸資料館」に突然来訪。7日早朝には、帝京大学教授・同大文化財研究所所長萩原三雄氏(山梨県)、甲府市教育委員会文化財主事鹿野義郎氏、甲府市立図書館館長望月祐仁氏。

9日には、セミナー主催の中世城郭研究会/倭城址研究会 代表八巻孝夫氏(東京)と中井正代氏(千葉県)が来訪。9日は関谷氏が本丸、多賀神社、外堀、搦め手側土塁跡を経てサークルK今川店で河口、河合正幸氏と合流。

八巻氏は「岐阜の山城ベスト50を歩く」を見ながら黒野城跡見学に来られた。八巻氏の黒野城について北側外堀土塁跡は横矢や横矢屏風折れ形状を残している。本丸矢倉跡の南東側は古図の張り出し形状から主要建物の場所。また外堀で南西側の土塁跡を是非見たいとの要望で案内にて明治の地籍図を持参して説明する。この地形は城の土塁形状のようですねとコメント。また本丸真西の外堀に残る半円の用水路を丸馬出と想定していましたが現地を見られ、丸馬出ではなく枡形が崩れた地形のようだと考察。

熊野神社と小川市案内板や附近の外堀跡、城下町遺構も案内。猛暑炎天下の中、城郭専門家が強い関心を持って黒野城の城郭を歩かれる。お別れ後も黒野城跡へと再度向かわれた。



サークルKで黒野城資料を見て打合 中央八巻氏、左中井氏



城郭南西側の堤を歩く

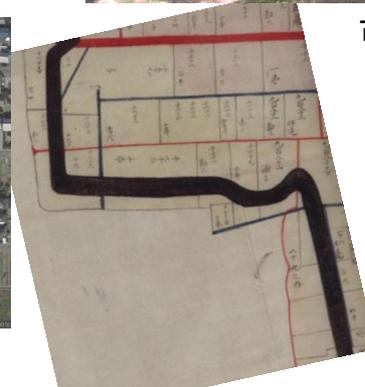
八巻氏は全国の城郭の殆を廻っておられ、文禄の役、慶長の役で秀吉軍が築いた朝鮮の城へも数十回行かれた。Webによると城郭研究歴45年、小学館OBで歴史美術部門を担当。



古市場熊野神社本殿裏の小山にて



堤とは思えない程に城郭形状



現在の堤は明治時代の地図で黒塗り部。城郭を囲う土塁形状のようでもある。しかし地図では地割りを横切るように築かれているので後世の築ともいえる。
(「黒野村絵図」部分 郷和彦氏蔵)

平成28年(2016)9月22日(日)
メディアコスモス9:00~15:00

ぎふメディアコスモス 秋のお祭り「メディコスまつり フム・ドキ・ワイワイ」 黒野の歴史文化紹介 「黒野のお殿さま」紙芝居上演

日頃、岐阜市民活動交流センターにて、研究会では資料印刷などで利用しています。交流センターの職員からメディコスまつりのお話があり、初めて参加。黒野地域の歴史文化や活動を知っていただく、紙芝居「黒野のお殿さま」を上演しました。語り役に初登場の部会長河合正幸さんと、神山順子さん二人の語りで発表。後方には、盛り上げ役の武将隊6名の面々。発表は午前と午後の2回。それぞれ約50~60人の参加者があり、普及活動に繋がりました。



同市黒野地区の住民らでつくる黒野城と加藤貞泰公研究会は、地域の歴史を伝えるオリジナルの紙芝居「黒野のお殿さま」を発表した。

黒野小学校の児童らと四年前、作製した紙芝居で、研究会長の河口耕三さん(61)は「次世代の子どもたちに伝えたいと思い、活動しており、多くの人に発表できる機会でありたい」と話していた。

(北村剛史)

平成28年9月23日
中日新聞
岐阜県版より



長良川おんぱく2016 ゆかた女子大生とぶらり黒野の歴史探訪 「梨の食べ比べ＆鶺鴒山ふもと巡り」開催

平成28年(2016)9月25日(日)
9:00～12:30
・参加者15名(参加料1,500円)
・おんぱく写真部1名
・スタッフ14名(西垣家含む)

今年のプログラムは、研究会員10名と岐阜大学地域科学部3年の女子大生(3名)と合同で案内。

好天のもと、城跡と城下町を巡り、鶺鴒山のふもとと御望の西垣果樹園宅に移動。会員の西垣義郎さんが縄文衣装に身を包んでお出迎え。参加者も用意された5着分の衣装に身を包んで和やかな雰囲気。

果樹園周辺は古代ロマンが息づく地で、約60年前、義郎さんが中学生の頃から縄文時代の石器や土器を多量に柿畑で採集。その遺物を展示。(現在も東海環状自動車道計画地で発掘調査中)

その後、旬の梨6種類を食べ比べ。瑞々しく大ぶりの梨に参加者の皆さんも和気あいあい舌鼓。お土産の梨も用意して頂きました。最後に犬塚の郷家屋敷を外巡り。

連日の雨模様の中の貴重な晴れ間。無事にプログラムを開催でき、満足して頂きました。



川脇沙也佳さん(左)の進行でスタート



西垣家では奥様はじめ大変お世話になりました。



犬塚の郷家屋敷前

関ヶ原古戦場 歴史案内看板(電柱)に「加藤貞泰」初登場

関ヶ原町は、10月に関ヶ原合戦の史跡をめぐる道沿い電柱100本に4種類の看板取付。岡山烽火場(ほうかじょう)のふもと1本は「加藤貞泰」。研究会は協賛スポンサーとして設置しました。見学有志にて訪問。加藤貞泰の名と研究会の表示に一同感激。竹中重門看板にも義弟加藤貞泰の名がありました感激する。

行先＝美濃国分寺跡・ローソン(合戦弁当求め3店)・岡山烽火場ふもと電柱看板・烽火場(昼食)・歴史民俗資料館(草野館長に面談)・関ヶ原町役場(女性職員に挨拶)・駅前観光交流館・五明稲荷・国分寺跡前発掘調査(県文化財保佐竹氏から説明)

岐阜新聞

2016年(平成28年)10月22日 土曜日

地域総合 22

「黒野のお殿様」知って

一代限りの城主・加藤貞泰



「黒野のお殿様」の説明看板を出した「黒野城と加藤貞泰公研究会」のメンバー＝不破郡関ヶ原町

戦国末期から約15年だけ岐阜市黒野地区に存在した黒野城と二代限りの城主加藤貞泰を顕彰する市民団体が、関ヶ原古戦場跡のある不破郡関ヶ原町に、城主に関する看板設置を協賛した。メンバーは「東軍側で参陣した黒野のお殿様の認知が進めば」と期待している。(古家政徳)

関ヶ原町では、町と中部電力などが連携し電柱の広告看板に関ヶ原合戦に加わった武将の紹介や豆知識、クイズなどを載せる取り組みを進めている。

また、地元の黒野城跡でも月中旬、外堀の土塁が築かれていたとされる付近に、黒野城の案内看板を新設した。研究会では「黒野

加藤貞泰

加藤光泰の嫡男で美濃黒野城主の貞泰は、義兄の竹中重門と共に東軍に属した。本戦では黒田・竹中隊らと岡山烽火場に布陣し東軍の勝利に貢献。



場所は関ヶ原バイパス丸山信号北約50m 後方の山は岡山(丸山)烽火場



念願の記念写真:名知さんは生涯の夢が叶い感激で男泣きしました



岡山烽火場にて



加藤貞泰看板(両面)



竹中重門看板

竹中重門

関ヶ原の領主で竹中半兵衛の嫡男。幼なじみの黒田長政、義弟の加藤貞泰と共に岡山に布陣し石田隊と激突。小西行長を伊吹山中で捕縛する大功を上げた。



ローソン関ヶ原合戦弁当580円

への来訪者を増やしたいと話している。

蘇る黒野城の城郭 搦手側外堀土塁跡に案内板設置

黒野城の外堀で唯一現存している最大規模の土塁・堀跡。昨年8月から土地所有者の許可を得て、会員の有志にて延べ20回の竹藪・雑木林伐採や草刈り、整地作業で蘇ることができました。案内板は、地域の事業者様などの寄付金にて制作、設置。市民や城マニアに黒野城の歴史を知っていただけるものと思います。

岐阜新聞 (第3種郵便物認可)

岐阜の黒野城跡

草刈って看板 土塁くっきり

岐阜市黒野の黒野城下町遺跡で、竹やぶに覆われて見えなくなっていた外堀土塁跡を地元住民有志らが一年がかりで整備し、案内看板を設置した。岐阜城、加納城に並び岐阜市の三大城跡の一つとして、認知度をアップにつなげるのが狙いだ。(北村希)

黒野城は安土桃山時代の一五九四年、加藤貞泰が築き、一帯が城下町として栄えた。貞泰が江戸時代の一六〇一年に鳥取県米子藩主となり、わずか十六年で廃城した。城郭は東西約千七百、南北約八百、本丸を中心に三十七日に設置した。

認知度向上狙う

黒野城は安土桃山時代の一五九四年、加藤貞泰が築き、一帯が城下町として栄えた。貞泰が江戸時代の一六〇一年に鳥取県米子藩主となり、わずか十六年で廃城した。城郭は東西約千七百、南北約八百、本丸を中心に三十七日に設置した。

研究家の河口耕三会長の「黒野城跡は全土塁と、城郭の一部が残り、市民や全国の城ファンに訪れてもらいたい」と話している。会では長約七十五、高さ約二、五メートルの土塁跡、案内板を無料で受け付け元住民や市歴史博物館の学芸員らによる。

黒野城と加藤貞泰公 564

2016年(平成28年)10月21日(金曜日)



黒野城の城郭

ここは黒野城の城郭で、現存する三之丸跡、搦手側の外堀・土塁跡、本丸から北北の方角、奥門に位置し、途中に城守の神明宮、陣には稲波坊(天神坊)、起龍寺を配置。侵入する敵に対して、側面からの攻撃と防衛を高めるため、屈曲した横矢野風折、出陣の一部が残る。城主加藤貞泰が慶長七年(一六〇二)にこの辺りの土塁と外堀を巡らせた。現在、土塁上長さ南北約43m、東西約33mが残る。土塁上幅は本丸と同様の約二間(3.8m)。現在地は黒野村と古市場村の村境に位置する。

黒野城の城郭

黒野城の城郭は、現存する三之丸跡、搦手側の外堀・土塁跡、本丸から北北の方角、奥門に位置し、途中に城守の神明宮、陣には稲波坊(天神坊)、起龍寺を配置。侵入する敵に対して、側面からの攻撃と防衛を高めるため、屈曲した横矢野風折、出陣の一部が残る。城主加藤貞泰が慶長七年(一六〇二)にこの辺りの土塁と外堀を巡らせた。現在、土塁上長さ南北約43m、東西約33mが残る。土塁上幅は本丸と同様の約二間(3.8m)。現在地は黒野村と古市場村の村境に位置する。

黒野城下家中屋敷図

黒野城と加藤貞泰公研究会
黒野城下家中屋敷図
平成二十八年十月
黒野城と加藤貞泰公研究会
黒野城下家中屋敷図
第一編

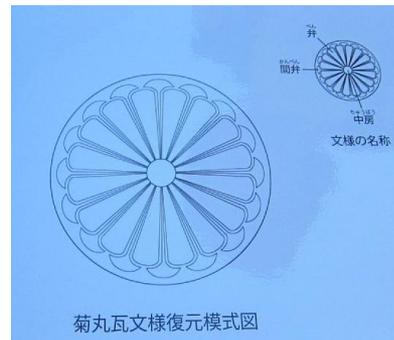
明治28年12月写之 小野小野三・山田重 岐阜市史資料編近世二付図7
黒野城には約180名の家臣屋敷と従者の家敷・神・寺・馬場・役所・町などが敷かれていた。
※赤字は現在地

岐阜市史跡 黒野城跡平成28年度発掘調査見学会

菊丸瓦が出土し話題に!!

今年で4年目となる黒野城跡の発掘調査が岐阜市教育委員会・岐阜市教育文化振興事業団にて行われ、現地見学会には多くの市民や研究会員も多数参加しました。枳形虎口を解明するため3年続いた発掘である。今回の最大の成果は、菊丸瓦の出土で加藤貞泰と秀吉との関係性を解く重要な発見であったと報告され、話題も高まりました。

- (公開資料より)
今回の発掘調査でわかったこと
1. 多数の瓦が出土しました
 2. 菊丸瓦が出土しました
 3. 集石遺構を確認しました



黒野会館まつり展示発表

黒野城と加藤貞泰公研究会
平成28年(2016)10月29・30日
黒野会館

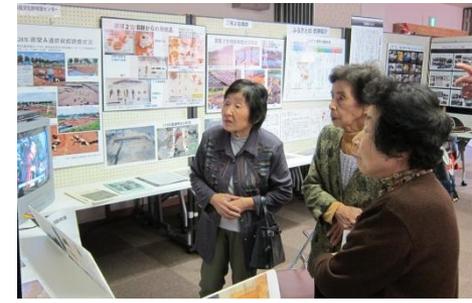
本年度の研究会は、テーマ「ふるさとの史跡紹介」。ふるさと黒野6000年の年表、洞第2古墳群・御望A遺跡(岐阜県文化財保護センターから資料提供)・小川市跡・黒野城跡(昭和23年の3D航空写真)を紹介。そして研究会活動の「鎧・兜手作り教室」の製作部品、看板設置など活動状況のパネルなどを展示。また、最近の活動映像4本を繰り返し紹介。正面には3領の鎧や旗で雰囲気作り。スタッフは当番で説明役。地域内外の多くの方々に見ていただきました。



子ども鎧兜



研究会コーナー全景



ふるさと史跡年表・洞第2古墳群・小川市・鎧教室工程



鎧手作り作品・活動記録写真・配布資料



黒野城3D写真・外堀土塁跡看板・関ヶ原古戦場看板



西垣義郎出土遺物



・御望A遺跡・DVD映像・洞第2古墳群



2日目の午後、舞台発表に見入る



他団体作品 玉子人形「城望黒野の宴」

黒野小 黒野城跡フィールドワーク

黒野小学校の社会教育のひとつ、地域の歴史を知り「ふるさと黒野」を愛する心を育てることをねらいに、6年生児童約80名が研究会の講師役と城下町案内。盛り上げ役で武将姿のスタッフも参加。黒野城跡では、ちょうど平成28年度の発掘調査を見学することが出来ました。



出発前、6年生児童と案内人(11人)集合



黒野城跡は発掘中・(菊丸瓦)の説明



186石の庄屋伊藤家屋敷門



西木戸跡と以哉派39世国島十雨生誕の家



案内人集合

黒野校区文化祭に展示

隔年開催の文化祭。「ふるさとの史跡」をテーマに縄文時代～江戸時代の黒野の歴史に見学者の関心も高まりました。会館まつりよりもスペースが広く、盛りだくさんの展示物で埋まる。



土曜日の午前中、黒野小
全児童がクラスごとに見学。
関ヶ原合戦書籍や3D写真に興味。



手作り鎧



イルミネーション実行委員会の巨大黒野城と鎧2領 19

平成28年度「岐阜県地域子ども支援賞」団体の部受賞

黒野城と加藤貞泰公研究会
平成28年(2016)11月16日(水)
岐阜県図書館 多目的ホール

黒野小学校の先生方の御協力にて、研究会の「ふるさと黒野検定子ども版」の部会が、平成25年5月から黒野小学校の児童を対象に、黒野地域の文化や歴史学習等の支援。この活動が推薦・選考され団体の部支援賞を県副知事の岸敬也から贈呈されました。

「平成28年度岐阜県地域子ども支援賞」団体の部 受賞者一覧表

No	団体名	活動市町村	活動概要
1	NPO法人 仕事工房ポポロ	岐阜市	平成22年から生活困窮世帯の子ども達や発達障害の子ども等を対象に、無償で学習支援
2	おひさまの会	岐阜市	平成20年から梅林小学校において、児童に読み聞かせボランティアを実施
3	黒野城と加藤貞泰公研究会	岐阜市	平成25年5月から黒野小学校の児童を対象に、黒野地域の文化や歴史学習等を支援
4	大正琴ひまわり会	岐阜市	平成12年から藍川小学校の児童を対象に、公民館において大正琴を指導

団体は28、個人は76名が受賞



対象となる活動等

活動の年数	平成25年5月から	3年	1ヶ月
活動の立場	黒野小学校児童にふるさと黒野等の歴史問題を出題して郷土意識をたかめている		
活動の対象となる子どもの範囲と人数	岐阜市黒野小学校の4年、5年、6年の児童 (240人)		
活動の頻度(○をつける)	○(年) 年・月・週・日に 10回		
活動の内容(上記にある活動の年数、活動の立場、活動の対象となる子どもの範囲と人数、活動の頻度が具体的にわかるように記入)	<p>平成22年5月に「黒野城と加藤貞泰公研究会」が地元有志、近隣学識経験者により発足して、黒野地域の歴史文化を勉強する会になった。それに伴い平成25年5月から黒野小学校児童の4年生、5年生、6年生に郷土の歴史を知ってもらおうと研究会員が、100問の問題を考え1年に10回に分け学童に出題、最終回(第11回)には出題に関するアンケートを取り次年の問題採択をしている。又この事業と同じに地域の歴史『黒野のお殿様』という紙芝居を小学校児童と共に製作、紙芝居も3作となり地域で公開をしている。又、平成28年2月には過去3年間に出题した問題集をまとめた『ふるさと黒野検定子ども版 100問必答』小冊子を黒野小学校全児童、職員に配布した。問題を解くには小冊子を見たり、児童間で話し合ったり各家庭へ持ち帰りみんなで話し合いの場、となるコミュニケーションも生み出している。この活動は現在も続けている。</p>		

愛媛県大洲市 曹溪院御一行来訪

愛媛県大洲市の曹溪院御一行28名と子ども2名が、宇和島自動車のバスにて黒野城跡を訪問。曹溪院は臨済宗妙心寺派、加藤貞泰が父光泰の菩提のために創建の加藤家菩提寺。岐阜と大洲は400年前の歴史が繋がるゆかりの地。短い時間でしたが交流を深め、皆さん喜んでお帰りになりました。



龍護山曹溪院 桜井宗雄住職様



黒野城について説明や黒野城での出来事、関ヶ原合戦。古戦場に電柱看板設置板、など…。



資料、土産の富有柿を手にお別れ



岐阜城 信長公居館跡の見学会



今年の研究会事業のひとつとして、岐阜城山麓城主居館跡の見学会を開催。

教育委員会の高橋方紀氏の案内で、ルイスフロイスの記録をもとに、噴水前の宮殿の門附近から順に案内をしていただく。

途中の石垣遺構や当時の道など詳しい説明に聞き入りました。数力所の池や庭園があった居館のなかでは金箔瓦が出土。板屋葺きで濃姫居館の可能性も。山麓の館や庭園は、発掘から信長のおもてなしの会場であったようで、来年は、信長公入城450年となり当時の状況に思いを寄せました。



信長と美濃三人衆の菊人形



看板類の清掃活動

公共施設など取付の黒野城関係表示類に対して、かねてから地域の市民なより要望があり、古い各種表示板類の片付け作業を研究会有志5名が一日かけて行いました。黒野城跡周辺の城下町含め片付。特に黒野会館分館建物壁面と周囲のゴミ類も合わせて大掃除。本来の素朴な古城跡が蘇りました。



片づけで積まれた収集物

清掃活動でスッキリした
黒野会館分館



末広町老人会 「お堀から出てきた観音さま」上演

黒野末広町の老人会会長の田浦一巳様からの要請にて、末広町公民館では3年ぶりに紙芝居を上演。37名の参加者に紹介。第2作「お堀から出てきた観音さま」の外部披露は初披露。河合正幸さんと、神山順子さんペアが練習の成果を披露。河口会長から観音堂の聖観音写真や黒野城跡から出土の菊丸瓦の説明もあり、黒野の埋もれた歴史紹介になりました。老人会午前の部に続いて、一緒にゲーム遊びと詩吟の発声。その後昼食弁当も頂きました。



ぎふメディアコスモス「NPOパネル展」に参加

岐阜市市民活動交流センターのNPO団体に毎年登録(まちづくり活動など)。交流センターでは主に研究会活動の印刷などでお世話になっています。今回初めて、センター主催のパネル展に参加。「蘇る黒野城」のパネルとマップ、リーフレット、会報4号を置きPR活動。

来訪者の中には黒野城の存在を初めての方もおられ、見学に行きますと言っていました。



甦る! 黒野城

安土桃山時代の戦国武将、加藤貞泰が423年前に築いた四万石の黒野城。歴史文化の研究成果を地域の未来づくりに寄与することを目的に、市民活動を7年続けています。平成28年度の多彩な活動の一部を紹介します。



紙芝居「黒野のお殿さま」上演 ぎふメディアコスモス秋のまつり 2016.10.22



城郭の外堀土塁跡を整備・案内板設置 2016.10.10



菊丸瓦出土で話題になる (岐阜市教育委員会発掘調査) 2016.10.29



城下町案内 黒野小6年生フィールドワーク 2016.10.31



関ヶ原古戦場に加藤貞泰看板設置 2016.10.12



黒野探訪 源の史跡めぐり 黒野まちづくり協議会主催・案内役 2016.6.26



黒野校区文化祭出展 2016.11.5～6

ふるさと子ども検定の活動にて岐阜県地域子ども支援賞受賞 2016.11.16

その他活動

- 研究会・他団体との交流会・古文書調査
- 歴史講座・会館まつり出展・美化活動
- マップ、リーフレット、会報発行など



籠・兜手作り教室開催 長良川おんぼく 2016.9.25 梨の食べ比べ&鶴岡山ふもと通り



平成29年(2017)3月1日(水)
黒野城跡 黒野会館分館
8:30~12:00

知ってね!! 黒野城の研究会活動

「●黒野城情報板」設置

黒野城跡の黒野会館分館の外壁窓枠部に「黒野城情報板」を設置しました。

研究会の活動内容や取り組みを地域住民などに周知してもらうことを目的に設置したもので、それ以外の掲示物等の掲示は行わない条件で、岐阜市社会教育課の許可を得て設置。

屋根の庇は全て手作り。河口作成の設計図にて材料購入、組立、塗装に名知さん、関谷さん、河合さんの応援で一週間がかりで完成。3月1日、市社会教育課と黒野会館留田館長、郷由美さんの立ち会いのもと、看板屋サインタワー河合さんの協力にて取付工事完了。庇は落下防止ワイヤで安全対策も万全。

早速、掲示板にラミネート加工した岐阜市教育委員会の発掘報告や活動資料を掲示しました。城跡を訪れる人に黒野城の知識や活動を知ってもらえるものと思います。



取付後



黒野城情報板 (幅1.8m、高さ1.2m)



取付前



設計前模型



取付工事前



庇は金属の窓枠に固定取付



取付後 26

「ふるさと黒野検定子ども版」平成28年度表彰式

昨年11月「岐阜県地域子ども支援賞」団体の部を受賞した研究会活動「ふるさと黒野検定子ども版」。今年で4年目の平成28年度表彰式が黒野小学校で行われました。

4～6年生児童に、黒野城や加藤貞泰公や郷土の歴史について、100問の問題に年間を通じて挑戦してもらい、その結果、成績優秀者と好成績を収めたクラスに対して表彰状とメダルを授与しました。

黒野小の児童が検定に取り組み始めて4年目の今年度は、初めて5年生女子1人が全問正解の100点を獲得し、特別表彰でその栄誉を称えました。



最高得点賞 5年1組 河口 ななか

最優秀賞 5年1組 日比野 彩香
 6年1組 中川 太智

優秀賞 5年1組 浅野 七星
 5年2組 林 史香
 5年2組 林 亮樹
 5年2組 不破 心奏
 6年1組 久世 晃輔

優良賞 5年1組 加藤 陽菜
 6年1組 水野 桜彩
 6年2組 白木 菜月
 6年1組 櫻井 みつき
 6年1組 高橋 京華

クラス表彰 6年1組
 6年2組



平成 28 年度
 ふるさと黒野検定子ども版
最優秀得点賞
 2017.03.08
 黒野城と加藤貞泰公研究会

平成 28 年度
 ふるさと黒野検定子ども版
最優秀賞
 2017.03.08
 黒野城と加藤貞泰公研究会

平成 28 年度
 ふるさと黒野検定子ども版
優秀賞
 2017.03.08
 黒野城と加藤貞泰公研究会

平成 28 年度
 ふるさと黒野検定子ども版
優良賞
 2017.03.08
 黒野城と加藤貞泰公研究会

